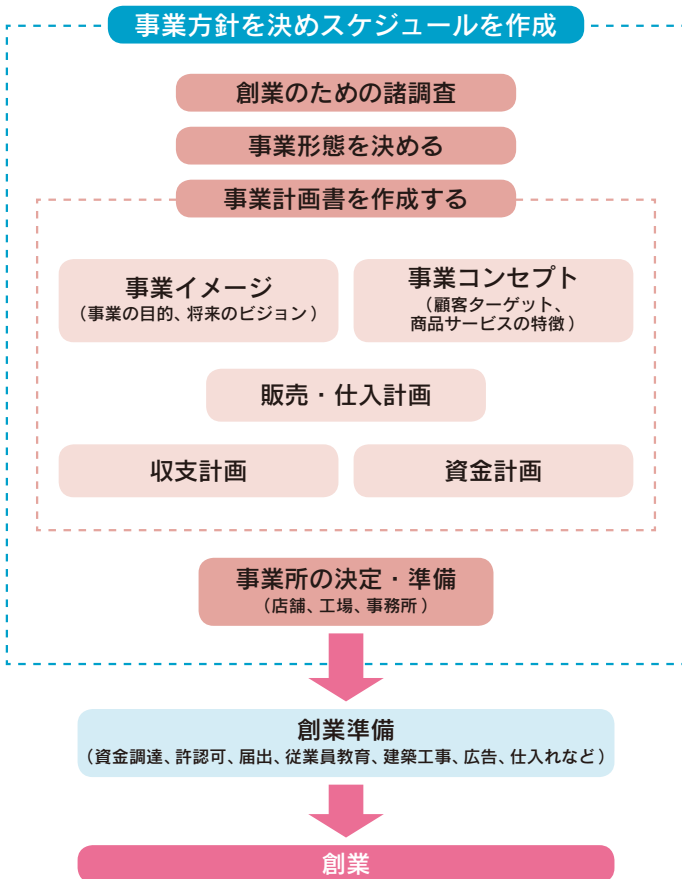


創業するにはどうしたらいいの？

「よし！創業しよう！」そう思い立っても、具体的には何をすればいいのかわからないし、「創業したいけどなかなか踏み出せない」「まずは何から始めればいいのか分からない」と、きっと初めは誰もそのような状況だと思います。前橋商工会議所では、創業を予定されている方や、創業して間もない方々に向けて、創業スクールの開催や融資斡旋、専門家派遣など相談者一人ひとりのニーズに合った支援を行っています。



● 創業スクール

創業にあたっては、ビジネスプランの策定はもとより必要な事業資金の算出から調達、収支計画の策定、資金繰り等、検討すべきことがたくさんあります。

当所で開催する創業スクールでは、創業に興味をお持ちの方、創業を予定されている方、そして創業後に事業の見直しが必要だと感じている方を対象に、経営理念やビジネスプランの策定、マーケティングや営業・販売など創業時の課題解決に必要な知識等を学んでいただけるカリキュラムをご用意しております。

● 融資制度

創業の際にどうしても欠かせないのが資金の調達です。創業時の融資としてポピュラーなのが公的な創業融資です。創業時は、事業者としての信用が低いことなどから、金融機関から融資を受けることが難しい場合があります。こうしたなか、政府系金融機関である日本政策金融公庫国民生活事業が取り扱う「新創業融資制度」は、一般的な融資と違い、創業して間もない人でも融資を受けることができる制度です。

利用者の声

1

開店に必要なノウハウや知識を詳しく教えていただきました。

使用制度 ▶ 創業支援



しもだや



平成27年に手打ちうどんの店「しもだや」を西片貝町にオープンしました。独立を決心した際に、修行先であったお蕎麦屋さんの社長の紹介で創業に必要な支援を商工会議所に依頼。何度も会議所を訪れ、資金調達や事業計画の作成、立地の選択、メニュー開発など細かく教えていただきながら諸準備を進め、ようやく開店にこぎつけました。

これまでいくつかの飲食店での修業を積んできましたが、マネージャーの経験がなかったので、開店するためには料理の腕前だけでなく経営のノウハウや知識が必要だと痛感しました。開店後も、手書きのポップやメニュー表を作成したり、近隣にお住まいの方への出前、宴会を受けるなど安定して顧客を獲得することができるのも、こうした支援・指導のおかげです。今後はメ

ニューの充実を図るべく、商工会議所の専門家派遣制度も利用したいと考えています。

(しもだや 下田 浩明氏)

COMMENT

経営指導員 女屋 満

下田さんは、ホテルやレストランの勤務経験が長く、オペレーション面の問題はありませんでした。しかし、うどんをメインとするメニュー構成のため競合店が多く、どのような特徴を打ち出して差別化を図るのかを何度も検討しました。これからの課題は、やはり売上げを伸ばすことです。専門家と連携してメニューのリニューアルやFacebook等SNSを活用した販路拡大の支援ができればと考えています。

